

法人理念（事務所）		・一つ一つの仕事を丁寧にします ・保護者、子どもに寄り添った支援をします ・人を思いやり、絆を大切にします
支援方針		・子どもたちが安心して過ごせる空間を作る 個に応じた関りを大切にする 一人一人の個性に合わせた計画、目標の制作 保護者の支援、家族の支援
営業時間		9 時 30 分から 18 時 30 分まで
本人支援	健康・生活	・子どもの健康状態を把握するために体温測定の実施 ・外遊びの際は熱中症にならない為に水筒、帽子をしてから外に行く ・スケジュールを提示し生活リズムを整える ・集団生活に必要な道具、用具の整理、整頓を身に付ける ・健康の増進にはクッキングやソーシャルスキルトレーニング ・1日のスケジュールを書き見通しがつくことにより構造化を図っている
	運動・感覚	・体幹トレーニング、音楽療法、武道（礼儀、作法）、塗り絵、ブラックボックス ・感覚過敏及び感覚鈍麻を踏まえた上で感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行い聴覚過敏の児童に対してのイヤーマフの着用 ・姿勢保持の向上を図ることと怪我の予防につなげるため体幹トレーニングを取り入れている
	認知・行動	・1人1人の認知の特性を理解し自分に入ってくる情報を適切に処理できる能力を養う（視覚、聴覚、触覚） ・安全に生活するために遊びや活動を通してボディイメージを身に付ける ・能力を養う支援を行う（目と手の協応を図るための課題の準備） ・次の活動に取り掛かることが出来るようホワイトボードに時間を書いている
	言語・コミュニケーション	ソーシャル・スキル・トレーニング、買い物学習、お店屋さんごっこ、パズル、 ・様々なゲームを通してコミュニケーションが取れるように支援していく（自分の意志） ・自分の気持ちを伝えたり相手の気持ちを受け止めたりする活動を通してコミュニケーションを図る ・事業所の活動の中で SST を活用している
	人間関係	・情緒の安定を図り他者との関りを形成するための様々な遊び（見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊び、様々な遊びを通して支援する） ・良好な人間関係を形成するために前もって遊びの内容やルールを前もって伝える ・自己理解を身に付けるために活動や帰りの会などで振り返りの場を設ける
家族支援		・相談員さんや各関係機関と連携を図りご本人、ご家族を支える体制を作ります。 必要に応じて学校や家庭訪問を行う（保育所等訪問）

地域支援・連携型	小学校障がいサポーター研修に参加し学校との関係を図っている（ボランティアで参加している）		
移行支援	・学校との連携を図り学校生活をサポートしていく ・より丁寧な支援をしていく（保育所等訪問）		
職員の質の向上	・年間予定を設定し、定期的に社内研修を実施 ・外部講師を招いた研修を実施し、職員の知識を高めていく ・各種委員会を設置し、安心安全な事業所運営を行って行く ・事業所内でのケース会議をしている		
送迎の有無	あり	なし	
主な行事	・夏祭り ・クリスマス会・保護者懇談会 ・季節の行事を実施 ・季節ごとの読み聞かせと壁画制作 ・夏休み等など長期の休暇は外出等の行事がある ・避難訓練 ・誕生日会		